

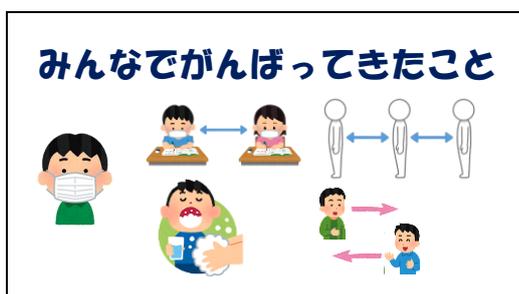
保谷第二小学校 2学期 学校生活指導資料

ス
ラ
イ
ド
1



2学期が始まりました。1学期は、みなさんがきまりを守ることを心がけて生活したので、全員が元気に学校生活を送ることができました。外では、新型コロナウイルスの感染者数の増加が心配されていますので、2学期も引き続き注意が必要です。

ス
ラ
イ
ド
2



1学期の初めのことを思い出してみましょう。初めは学級の半分の人で登校しました。登校したら、みんな前を向いて、静かに座っていました。会話を控えたり、友達と近づいて遊んだりすることはありませんでした。休み時間に外で遊ぶこともできませんでしたね。そうやって、感染を防ぐための生活を徹底していました。今も東京都の感染の状況はよくなっていません。つまり、1学期の初めと、同じ気持ちで生活なくてはならないということです。

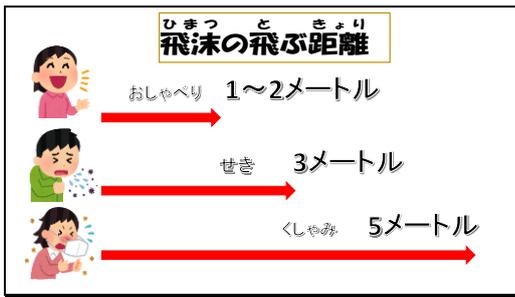
みなさんが、学校に来てほしいと思うことは、お友達や先生と、意見を交わしながら勉強したり、思いっきり遊んだりすることですよね。自由に話したり、遊んだりしたいなあと思っていますね。先生達も同じ気持ちです。今まで当たり前に行っていた学校生活を、させてあげたいと思っています。

ス
ラ
イ
ド
3



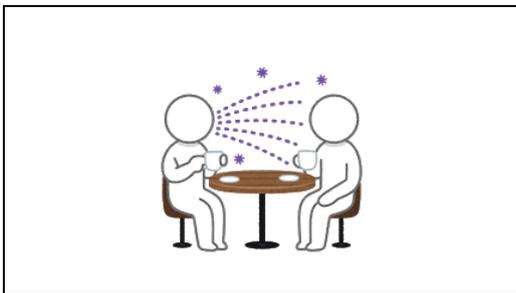
ですが、新型コロナウイルスの感染を防ぐための生活は、まだまだ続きそうです。もしかすると、これから何年も何年も続いてしまうかもしれません。一番大切な、みなさんの健康や命を守るためには、学校での過ごし方について、改めて考えなくてはなりません。もしかすると、ウイルスが近くにいるかもしれない！という気持ちで生活することが大切です。そのウイルスを体に取り込むことのないよう、感染防止に努める生活を心がけましょう。

ス
ラ
イ
ド
4



みなさんが、おしゃべりや咳やくしゃみをしたとき、その飛沫はこんなに遠くまで飛ぶそうです。もし、飛沫が目に見えていたら・・・

ス
ラ
イ
ド
5



こんなイメージです。

ス
ラ
イ
ド
6



このような飛沫感染を防ぐために、先生たちは・・・

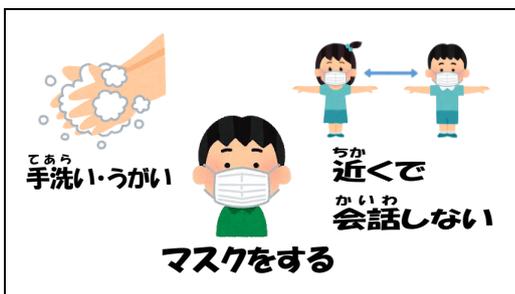
ス
ラ
イ
ド
7



消毒をすること・換気をすることを徹底しています。

では、みなさんができることは何ですか。

ス
ラ
イ
ド
8



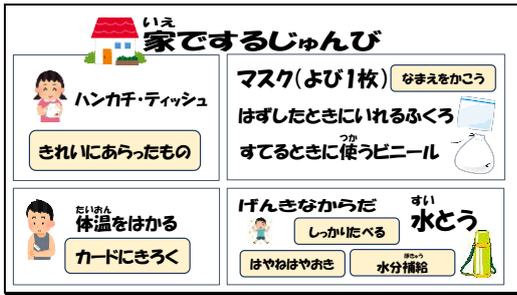
・正しいタイミングと方法で、うがい手洗いをするこ
と、マスクをすること、近くで会話をしないということ
ですね。

ス
ラ
イ
ド
9



なぜ、たくさんのきまりを守らなくてはならないの
か、それを考えながら、もう一度学校のきまりを思
い出していきましょう。

あなたは、いくつ守れていますか。

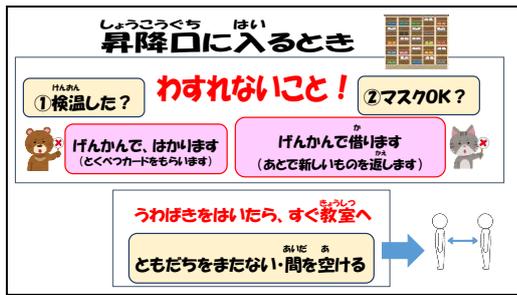


- ・毎日必ず、清潔なハンカチ・ティッシュを用意します。きれいに洗った物を持ってきていますか。
- ・名前を書いたマスクをしてきていますか。
- ・予備も1枚持ってきていますね。
- ・外した時にマスクを入れるための、布かビニールの袋、
- ・捨てたいときに使うビニールも持ってきてください。捨てるときは、流しの前にある、足でふたを開けるゴミ箱に捨てるのでしたね。

- ・毎日、朝と夜に検温をして、健康観察カードに記録します。持ってくるのを忘れてはいけません。
お休みの日も記録をしてください。
- ・元気な体で登校することも大事なことです。
- ・バランスのよい食事や十分な睡眠を心がけ、ウイルスに負けない体をつくりましょう。
- ・朝ご飯を食べなかつたり、夜更かしをしたりすると、元気に勉強できません。
- ・熱中症予防のために、水分補給も必要です。
水道が混雑しないためにも、自分の水筒があるといいですね。



- 登校したときの約束です。
- ・あいさつの時、大きな声は出さなくてよいですが、きちんと相手の目を見て、会釈をしましょう。
 - ・門を入ったら、一度校庭で学級ごとに並びます。
 - ・校庭の印を見て、間を空けて並びましょう。人との間を1m以上は空けるよう、努力しましょう。
 - ・友達とのおしゃべりはがまんします。
 - ・雨の日は傘がぶつからないように、気を付けましょう。



昇降口に入るときの約束です。

・先生の指示で、順番に少しずつ入りますが、自分たちでタイミングを見て入ることができるようにしましょう。

・検温とマスクの忘れがないか、確かめてください。もしも、忘れている場合には、速やかに申し出てください。

・検温していない人は、玄関の椅子で検温し、特別カードをもらいます。カードは担任の先生とおうちの人に渡します。

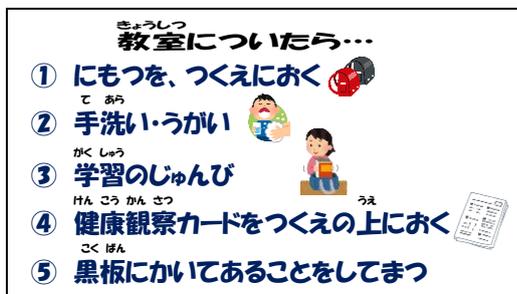
・マスクを忘れた人には、学校からマスクを借ります。貸出カードをもらい、おうちの人に見せます。あとで必ず、新しいものを返しましょう。

・チェックが済んだら、下駄箱に行きます。

・上履きを履いたら、決まった階段を使い、教室に行きます。

・友達を待ったり、おしゃべりしたりする人がいると、とても困ります。速やかに進みましょう。

・友達との間を1~2m空けるくせをつけてください。



教室についてからの約束です。

・自分の席に荷物を置きます。

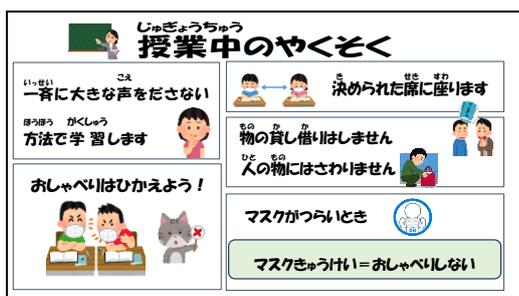
・すぐに手洗いうがいをしに行きます。

・流しでは、印の位置で待ち、しっかり手洗いうがいをしましょう。

・席に戻ったら、学習の準備をします。

・健康観察カードを机の上に出すことを忘れていませんか。先生が確認しやすいようにして、机に置くといいですね。

・黒板などに書いてある指示に従い、静かに座って待ちましょう。



授業中の約束です。

・授業は、全員前を向き、一斉に声を出さない方法で学習します。

・向かい合って、話し合うことはできません。

・不必要な会話もひかえてください。

・声はあまり出すことができませんが、みなさんの気持ちや考えは、すなおにしっかり表現しましょう。
・楽しいときは、遠慮せずに笑いましょう。マスクをしていても、心はつながります。

・感染予防のために、きちんと決められた席に座ります。

・ともだちとの物の貸し借りはしません。

・人の物に触ることもしてはいけません。

・棚や壁などにも、なるべく触れないように気を付けて生活しましょう。

・いつもは、トイレは休み時間に行くことになっていますが、混雑をさけるために、授業中に行くこともできるようにします。

・何か困ったときや、具合が悪いときなどは、遠慮せず、手を挙げて教えてください。

・特に具合の悪いときは、我慢せず、早めに伝えましょう。

・授業中でも、水分補給はこまめに行いましょう。人が話していない時など、タイミングを見て飲んでください。

・授業中、先生もみなさんもマスクをします。

教室では、友達との距離が近いので、マスクは必要です。

・暑い時など、どうしてもマスクを外したいときは、一時的に外してもかまいません。

・外している間は、声を出さないことを約束するきまりにします。

トイレのやくそく

- ① 学年でできたトイレをつかおう
- ② ろうかの印にならびます
- ③ のれんの中ではまちません
- ④ なるべく洋式をつかいましょう
- ⑤ 洋式トイレのふたは閉めて流します

トイレの約束です。

- ・原則として、学年で決まっているトイレを使います。
- ・個室がいっぱいするとき、のれんの中では待ちません。
- ・のれんの中に集まって、おしゃべりをしている人を見かけますが、これは、大きなルール違反ですね。
- ・床に貼った印の位置に、並んで待ちます。
- ・女の子は、なるべく洋式トイレを使ってください。
- ・洋式トイレは、ふたを閉めてから流しましょう。
- ・男の子も飛沫が飛ばないように、気を付けて使しましょう。

手洗いうがいのやくそく

- ① 学年でできた流しをつかおう
- ② ろうかの印にならびます
- ③ せっけんできていねいに！！

登校したとき	トイレのあと	そうじのあと
休み時間のあと	給食の前とあと	体育の前とあと
みんなで使うものや特別教室を使用する前とあと		

こまめに洗おう！

手洗いうがいの約束です。

- ・できるだけ学年で決まった流しを使います。
- ・廊下の印の位置に黙って並びます。
- ・石鹸を使い、正しい方法で、手洗いうがいをしましょう。
- ・石鹸での手洗いは、ウイルスを取り除く効果があります。
- ・石鹸ネットの泡もしっかり流しましょう。
- ・いままでより、手洗いうがいをする場面が多くなります。
- ① 登校した時 ② トイレの後 ③ そうじの後
- ④ 休み時間の前と後 ⑤ 給食の前と後
- ⑥ 体育の前と後 ⑦ みんなで使うものや特別教室を使用する前と後 など、こまめに行いましょう。

長い休み時間のやくそく

学年によって 校庭や図書室のつかえる日 がちがいます	決められた水道をつかいます
マスクをはずすときの きまりをまもろう	固定遊具はつかえません おにごっこは、人にさわらないように
手洗いうがいを わすれずに...	外でも室内でも... 人とのあいだを広くとってすごそう 図書室では... 話をしないだけ

休み時間の約束です。

- ・1学期の外遊びの様子から、皆さんの安全を考えて、2学期は、中休みに遊ぶ学年と昼休みに遊ぶ学年を分けることにしました。中休みは1、2、3年生。昼休みは4、5、6年生です。
- ・また、校庭の場所を、遊びによって分けることも考えています。
- ・決められた水道を使います。
- ・固定遊具も、まだ使うことができません。
- ・室内にいるときも、友達と近くで向き合って会話をすることはできません。
- ・読書をしたり、絵を描いたり、折り紙をしたり、座っ

て静かにできることを考えて行いましょう。

・図書室で騒いでいる人を見かけることがあります。図書室は、静かに本を選んで借りてください。

・1学期よりも、できることが少なくなっていますね。でも、ここで皆さんに考えてほしいことがあります。・最初に確認したように、感染を防ぐには、手洗いうがいを徹底すること、マスクをすること、近くで会話をしないことが必要です。

ス
ラ
イ
ド
18



もし、そのきまりを保二小の全員がきちんと守ることができたら、これまでできなかったことも、できるようになるかもしれません。

ス
ラ
イ
ド
19



・例えば、ジャングルジムやうんていなどの、固定遊具。これらは、多くの人に触るので、今は使ってはいけないことになっています。でも、みんながきちんと遊ぶ前に手を洗い、遊んだ後もしっかり手を洗うことができれば、使ってもいいですよと言うことができます。



- ・でも、それを守らない人が、一人でもいると、だんだんと他の人たちも守らなくていいかなあという気持ちになります。
- ・そうすると、先生たちは、また、使ってはいけませんと言わなくてはなりません。



- ・ですから、自由に楽しく遊ぶためには、全員がルールを守ることが必要なのです。
- ・これからは、そんなことを考えながら、行動してみましょう。



- では、みんなで守ることを確かめましょう。
- ・休み時間の前と後には、必ず手を洗います。また、遊具に触ったり、お友達と接触したりした後は、目や顔を触らないようにしましょう。
 - ・いまは、とても暑いので、熱中症を防ぐために、外でマスクを外すこともできます。でも、もし外した時は、友達との間をあける、会話をしない、校庭の隅で休むなどの方法を自分で考えて行いましょう。
 - ・マスクを外して鬼ごっこをする人がいますが、友達と近づいてしまうので、これはやめましょう。
 - ・昇降口に入る時も、密をつくらないことを意識してください。登校の時と同じ気持ちで入りましょう。

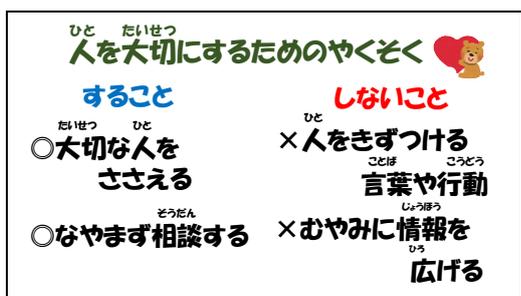
- ・危険な様子が見られたら、先生たちが声をかけます。注意される前に、自分たちで気付くことも大切です。
- ・長い休み時間は、心と体をしっかり休めて、リフレッシュしましょう。



- ・給食の約束です。
- ・毎日必ず、次の物を用意しましょう。
- ・ランチョンマット・口ふきタオル・マイスプーンやおはし
- 給食当番の時は専用のマスクが必要です。
- ・授業中などに付けているマスクとは違うものを用意しましょう。
- ・予備も1枚、ランドセルに入れておきましょう。
- ・スプーンやおはしは学校の物を使うこともできます。
- ・その時は、かごの中から、1本だけ触るようになって自分で取ります。
- ・必ず毎日持ち帰り、清潔なものを用意しましょう。



- 下校するときの約束です。
- ・下駄箱が混雑しないように、何人かで順番に教室を出ます。
 - ・先生の指示に従ってください。
 - ・教室を出たら、廊下で友達を待たせず、すぐに玄関へ進みましょう。
 - ・正門から帰りますが、門を飛び出す人がいます。これは大変危険ですので、絶対にやめましょう。
 - ・安全に気を付けて下校してください。
 - ・「さよなら」のあいさつも、笑顔や会釈で伝えましょう。
 - ・登下校のときも、できるだけマスクをします。熱中症などの心配もあるので、体調に合わせて調整しましょう。
- 下校後は、
- ・家でも手洗いうがいをしましょう。
 - ・布マスクは、その日のうちに洗濯してください。
 - ・学校で勉強したこと復習や次の日の予習をする時間を作りましょう。
 - ・翌日の準備をして、気持ちよく一日を終えましょう。



保二小全員の心を大切にするための約束です。わたしたちは、目に見えないウイルスや経験したことのない感染症に、今とても不安な気持ちを感じています。

そのため、そのウイルスを遠ざけたい！という気持ちを持ちます。ですから、手洗いやうがいをしたり、外出をひかえたりして、自分や周りの人の命を守る努力をしています。

それは、とても大事なことです。

でも、怖さや不安が大きいあまりに、この感染症に関わる人を強く避けようとしたり、差別をしてしまったりすることがあります。

今、自粛生活の時と違って、みんなが通常の生活をしています。ですから、感染の可能性は、誰にでもあり得ます。

だから、感染症に関わる人の心を傷つけるような行動は、絶対にしてはいけないことなのです。

さらに、こうした行動は、感染してしまったかな？と思った人が、差別をおそれ、病院へ行くことをためらうことにもつながります。すると、もっと感染が拡大するという結果になってしまいます。

新型コロナウイルスに感染した方、治療に当たっている医療関係者や社会のために働いてくださる方やその家族、海外の人などに対して、差別やいじめ、SNS等での誹謗中傷があってはなりません。周りに差別やいじめをする人がいたら、一緒になって人を傷つける行動をしないよう、約束してください。

もし、あなたの周りで不安な気持ちを抱えている人を見かけたら、優しく声をかけるなど、みんなで一緒に支えてあげてください。

もし心が傷ついたときは、一人で悩まず、すぐに家族や友人、学校の先生など、信頼できる人に相談しましょう。

直接相談しにくいときは、話を聞いてくれる電話相談などの相談窓口も利用できます。

だれもが自分も他人も大切にし、だれもが安心して過ごせる保二小を作りましょう。